

## 社会福祉法人巢立ち会 障害福祉サービス事業所「夢幻」について

## &lt;事業概要&gt;

住所 三鷹市野崎一丁目 20 番 3 号

開設予定時期 令和 7 年 4 月 1 日

サービス内容 日中サービス支援型共同生活援助 定員 10 名

短期入所 定員 1 名

## &lt;事業内容&gt;

## ①日中サービス支援型共同生活援助

当会は精神科長期入院者の地域生活支援をその設立目的とし、30 年間活動を行ってきた。しかし、令和元年度厚生労働省精神保健福祉資料によれば、令和元年 6 月末時点で未だに約 1 万人の人が 1 年以上の長期入院をしており、地域生活へ移行できない方たちがまだ大勢いる。一方で 2017 年発表の東京大学と当会の共同研究では、「長期入院を経て地域生活に移行した重度精神障害者の平均余命は、一般人口データに比べて 20 年以上短い」という結果が明らかになった。入院患者の高齢化は進んでおり、一人でも多くの方が地域での生活を楽しめるうちに退院できるよう、退院支援を進めていくことが重要である。

当事業所では、従来の GH では受け入れが困難で、より手厚い支援が必要な高齢、重度精神障害者の方を受け入れる。これまで行ってこなかった服薬管理等の支援も行う。重度精神障害者の中には、空笑や独語、大声を出す、壁を叩くなどの症状でアパートや GH を退居になるケースがあるが、当事業所では防音機能を高めた部屋を準備するなど、それらの症状があっても暮らせるようにする。支援者が近くで見守ることにより、利用者が安心して地域生活を送れるように支援を行う。

可能な限り、日中は通所事業所に通ってもらうが、それが困難な方たちもいることから、ゆっくり過ごせる交流スペースも設置する。また食事もうつたりとした雰囲気の中で、温かい食事を提供したい。

## ②短期入所

短期入所では、一人暮らしの体験の場としてのサービスを提供するとともに、緊急時の受け入れ先として相談支援事業所や行政と連携し、できる限り受け入れていく。短期入所のニーズはあるが、市内には数が少なくなかなか利用することができないのが現状である。当事者とともに親も高齢化しており、家族は常に「親なき後の生活」を不安に思っている。職員や他入居者がいる中で短期入所を利用し、自立に向けた準備をしてもらう。

## ③地域交流

また、行事を企画するなど近隣住民との交流の機会を作り、利用者が地域住民の一員であることを実感し、地域とつながることができるようにしていく。近隣に当法人の日中活動の場があり、そこでも連携しつつ地域生活に必要な「人とのつながり」を生み出していく。また、行事やプログラムに参加することで、生活の中に楽しみを見つけられるようにしていく。

将来的には防災用の井戸を掘る計画で、緊急時には近隣住民にもその水を提供したい。